

## No.84 >>> Contents

●年頭所感	.....一般財団法人大日本蚕糸会 会頭 松島浩道	1
●一般財団法人大日本蚕糸会から		
3月14日を「 <sup>さんし</sup> 蚕糸の日」に制定	.....	3
国産生糸展示・商談会のご案内	.....	4
令和6年度蚕糸功労者表彰（第80回）	.....	5
●トピックス		
「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を振り返る		
.....一般社団法人富岡シルク推進機構 専務理事 長谷川直純	.....	8
"シルクサミット2024 in 糸都岡谷"（第25回）を開催して		
・シルクサミット2024 in 糸都岡谷 事務局 岡谷蚕糸博物館 館長 高林千幸	.....	10
第71回日本シルク学会研究発表会を終えて		
.....第71回日本シルク学会研究発表会実行委員会 花之内智彦	.....	12
●研究・技術情報		
第27回国際昆虫学会議から	..... 学習院大学 理学部 嶋田 透	14
第27回国際昆虫学会議に3団体共同で出展 （27th International Congress of Entomology : ICE2024 in Kyoto）		
..... 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 門野敬子	.....	17
貞明皇后記念蚕糸科学賞 カイコのゲノム編集技術の開発と展望		
..... 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 絹糸昆虫高度利用研究領域 新素材開発グループ 高須陽子 カイコ基盤技術開発グループ 坪田拓也	.....	19
●海外情報		
中国における伝統的な養蚕の保全 ー世界農業遺産「湖州の桑基魚塘システム」を訪ねてー		
..... 国連大学サステナビリティ高等研究所 客員研究員 永田 明	.....	21
●イベント情報		23
●一般財団法人大日本蚕糸会から		
2024年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況	.....	28
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧	.....	30
活動日誌	.....	38
●蚕糸絹関係博物館一覧	.....	40
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧	.....	43
●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）	.....	46

# 年 頭 所 感



一般財団法人大日本蚕糸会  
会 頭 松島浩道

明けましておめでとうございます。

本年も、我が国の蚕糸絹業の発展のため、皆様からのご期待にお応えして大日本蚕糸会がその役割を果たせるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大日本蚕糸会では、昨年の秋から現行の中期事業計画（計画期間：令和3年度～7年度の5か年）の見直し作業を始めています。現在、国内の養蚕農家はわずか146戸、繭の生産量は45トンまで落ち込み、今も減少が続いています。大日本蚕糸会では、これまで蚕糸業を支援するために様々な事業を実施してまいりましたが、これまでの事業をこのまま漫然と継続していると遠からず我が国から蚕糸業が失われてしまうのではないかと強い危機感を持っており、中期事業計画の抜本的な見直しが必要ではないかと考えています。

昨年の10月には、養蚕農家、製糸業者、絹業関係者等を構成員とする提携グループの代表者の皆さんに集まっていたいで、我が国の蚕糸業の厳しい現状について共通認識を持っていただくとともに、直面している課題について意見交換していただきました。また、昨年末には全ての養蚕農家、製糸業者、蚕種製造業者を対象に、現在の経営の状況、課題、今後の経営方針等について調査を実施し、現在、その結果を分析しているところです。

本年は、この調査結果を踏まえて、有識者のご意見も聞きながら、蚕糸業を支援するための新たな枠組みについて早急に検討していきたいと考えています。

蚕糸業対策は平成20年に輸入糸調整金制度が廃止され、蚕糸・絹業グループに対して支援する枠組みに移行しましたが、それ以降も蚕糸業の衰退を止めることが出来なかった根本的な要因は、養蚕農家の高齢化が進む中で、養蚕農家の生産する繭の買取価格が生産コスト

---

---

を下回り収益性が改善しなかったため、後継者が育たず、また新規参入も極めて限定的であったことにあると考えています。

将来にわたって我が国に蚕糸業を残していくためには、養蚕や製糸業に携わる方々が希少品種の生産等により国産生糸の差別化を図ったり、品質の更なる向上に取り組むなどこれまで以上に努力していただくことに加えて、消費者の皆さんに我が国の蚕糸業の厳しい状況に対する理解を深め、国産の絹製品の応援団になっていただき、国産の絹製品が生産コストに見合った価格で取引される環境を作っていくことが必要であると考えています。

このため、大日本蚕糸会では、本年は消費者の皆さんに蚕糸業が近代日本の発展に貢献してきた歴史やその文化的な重要性を理解することを通じて、国産生糸の価値を認識していただくための活動を積極的に行っていきたいと考えており、当面、以下のイベントを予定しています。

(1) 1月27日には、日本発のラグジュアリーブランドを育成するため羽田空港で「ジャパン・マスタリー・コレクション」を運営されている(株)羽田未来総合研究所の大西洋社長をお招きして、「匠の技、オール日本で支える」と題して講演をしていただく予定です。

(2) 2月20日、21日には、国産繭を使用して生糸を製造している製糸業者による国産生糸の展示商談会を開催するとともに、明治以降の日本の蚕糸業を題材にしたドキュメンタリー映画「シルク時空を超えて」を上映する予定です。

(3) 昨年末に、明治天皇の皇后であられた昭憲皇太后が明治4年の3月14日(旧暦)に宮中で御養蚕を始められたことに因んで、3月14日を「蚕糸の日」と決めました。

今年の3月14日には、昨年秋に蚕糸功績賞を受賞されたお二人、宮崎県綾町で綾の手紬染織工房を営まれ天然藍染め技法を復活された秋山眞和氏、カイコの生理生化学的研究の第一人者である新保博博士をお招きして記念講演会を開催する予定です。

大日本蚕糸会は、引き続き、我が国の養蚕業、製糸業が持続的なものとなるよう支援していきたいと考えておりますので、今後とも関係者の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

改めまして、関係者の皆様の今年一年のご健勝とご多幸をお祈りしまして新年のご挨拶といたします。



令和6年12月13日

## 3月14日を「<sup>さんし</sup>蚕糸の日」に制定

大日本蚕糸会は「蚕糸の日」を制定し（一社）日本記念日協会に登録しました。

これを記念しまして記念講演会を開催するとともに、  
3月を「蚕糸月間」として関連イベントを募集します。

- 「蚕糸の日」：3月14日
  - 制定の趣旨：「蚕糸の日」を制定し、広く周知することにより、蚕糸業が近代日本の発展に貢献してきた歴史や蚕糸業の文化的な重要性を訴える機会とする。具体的には、蚕糸業関係者が「蚕糸の日」に我が国の養蚕・絹の歴史について広報を行ったり、国産絹製品のプロモーションを実施すること等を通じて養蚕の振興、絹の伝統文化の継承を推進する。
  - 日付の由来：宮中御養蚕が始まった日（旧暦）。昭憲皇太后（明治天皇の皇后）が宮中御養蚕を開始した明治4年の第1回<sup>はきたてび</sup>の掃立日（旧暦）に由来。
- ※「掃立」：卵から孵化した蚕を飼育場所（<sup>さんざ</sup>蚕座）に羽ぼうきで掃き下ろす飼育開始の作業。

### ■ 記念講演会の開催

大日本蚕糸会は、「蚕糸の日」を記念しまして永年蚕糸絹業の振興発展に貢献され令和6年度蚕糸功績賞を受賞された秋山眞和氏（綾の手紬染織工房創設者）と新保 博氏（元蚕糸科学技術研究所長）をお招きして記念講演会を開催します。

【開催日時】 令和7年3月14日（金）（時間未定）

【開催場所】 「蚕糸会館」（東京都千代田区有楽町1-9-4）

※詳細は追ってホームページに掲載します。

### ■ 関連イベントの募集

3月を「蚕糸月間」とし、わが国の蚕糸業に関して理解を深めていただくイベントや国産繭・生糸の付加価値向上等の取組を関連イベントとして募集し、大日本蚕糸会のホームページで公開します。

「蚕糸の日」の趣旨に賛同いただける方は、

- ①イベントのタイトル、②イベントの内容、③主催者、④連絡先を記載して、2月14日（金）までに下記メールアドレス宛にご連絡ください。

関連イベント応募先メールアドレス：[shinkobu@silk.or.jp](mailto:shinkobu@silk.or.jp)



<お問い合わせ先>

一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部 伊藤／岡島 TEL03-3214-3500

## 国産生糸展示・商談会のご案内

国産繭・生糸の良さを理解し、付加価値のある作品づくりのきっかけとしていただくため、国産繭を使用して生糸を製造している製糸会社による国産生糸展示・商談会を下記の日程で開催します。

また、作品づくりのイメージを広げていただくため、明治以降の日本の蚕糸業を題材にしたドキュメンタリー映画「シルク時空をこえて」を上映します。

### 記

1. 日時：2025年2月20日（木）12時～16時（映画上映時間 12時～14時）  
21日（金）11時～16時（映画上映時間 12時～14時）
2. 場所：東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館  
1階 ジャパンシルクセンター  
6階 会議室
3. 参加製糸会社：山形県 松岡株式会社  
群馬県 碓氷製糸株式会社  
長野県 株式会社宮坂製糸所  
愛媛県 西予市野村シルク博物館



### 4. 参加申込

①製糸会社担当者との相談をご希望の方は電話または下記にご記入いただき、FAX、メールで2/6（木）までにお申し込み下さい。

お名前	ご連絡先
ご来場日及び時間	相談希望製糸会社

②映画鑑賞ご希望の方はご希望日時別の人数を電話、FAX、メールで2/6（木）までにお申し込み下さい。（各日先着 40名様）

お名前	ご連絡先	鑑賞日及び人数	
		2月20日（木） 12時～14時	人
		2月21日（金） 12時～14時	人

5. お問い合わせ先：大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部 伊藤、岡島  
TEL 03-3214-3500 FAX 03-3214-3415  
e-mail : shinkobu@silk.or.jp



## 令和6年度蚕糸功労者表彰式（第80回）



第80回を迎える一般財団法人大日本蚕糸会主催の令和6年度「蚕糸功労者表彰式」は、去る令和6年11月1日（金）東京都千代田区内幸町・帝国ホテル3階富士の間において、常陸宮妃殿下御臨席のもと、挙行了しました。本表彰式では、蚕糸功績賞2名、蚕糸功労賞16名、蚕糸有功賞6名、貞明皇后記念蚕糸科学賞1件、蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞「蚕を学ぶ奨励賞」2件が栄えある表彰を受けられました。

### 1. 蚕糸功績賞（2名）

秋山 眞和  
新保 博

綾の手紬染織工房 創設者  
前 一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所長

---

---

## 2. 蚕糸功労賞（16名）

宮 城 県

福 島 県

福 島 県

群 馬 県

群 馬 県

京 都 府

徳 島 県

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構

（一社）日本絹人織織物工業会

（一社）日本絹人織織物工業会

（一社）全日本きもの振興会

（一財）伝統的工芸品産業振興協会

シルクのまちづくり市区町村協議会

シルクのまちづくり市区町村協議会

シルクのまちづくり市区町村協議会

本 会

高 橋 和 江

武 藤 弘 和

安 齋 孝 行

齊 藤 昭 紀

西 田 真 男

吉 岡 明 彦

所 洋 志

渡 部 賢 司

石 原 光 茂

礪 波 修

田 村 輝 男

山 田 容 永

田 口 忠 志

小 島 章

柿 木 肇

和 賀 文 子

## 3. 蚕糸有功賞（6名）

福 島 県

群 馬 県

群 馬 県

京 都 府

京 都 府

シルクのまちづくり市区町村協議会

松 葉 隆 幸

高 橋 直 矢

石 井 智恵美

木 村 秀 男

青 山 信 彦

植 野 智 恵

---

---

#### 4. 令和6年度（第67回）貞明皇后記念蚕糸科学賞

「カイコにおけるゲノム編集技術の開発と産業利用に向けた高度化」

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門

高 須 陽 子

坪 田 拓 也

#### 5. 令和6年度（第12回）蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞

「蚕を学ぶ奨励賞」

群馬県 社会福祉法人ふたば会 ふたばこども園

千葉県 学校法人神栄学園 あやめ台幼稚園

（敬称は略させていただきました）



## 「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を振り返る

一般社団法人富岡シルク推進機構

専務理事 長谷川直純

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、今から10年前の2014年世界遺産登録を果たしました。しかし、世界遺産登録への歩みは、その11年前の2003年に始まっていますので、世界遺産登録には相当の歳月を要しました。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録の歩みを振り返ってみますと、2003年に富岡製糸場を世界遺産にする研究プロジェクトを開始するとその当時の小寺群馬県知事から発表がありました。またまた遡りますが、1998年に私は富岡市職員として群馬県都市計画課に派遣されており、「アーバンツーリズム」という業務に携わっていました。そこで、今は亡き国立科学博物館産業技術史資料情報センターに勤務されていた清水憲一先生から「長谷川君、富岡製糸場は世界遺産に匹敵する資産だよ。」と聞かされていたので、自分の周りの方々は相当驚いていましたが、私は、いよいよ始まったと感じていました。しかし、清水先生からお話しをお聞きした当時は、正直な話、世間の人と同じで、まさか富岡製糸場が世界遺産登録になるはずはないよな、赤レンガで立派な建物だが、世界遺産レベルではないと感じていました。

その後、2005年に富岡製糸場課に配属



が決まり、富岡製糸場の世界遺産登録を行う業務に携わることになりました。当時の市民の反応ですが、あくまで推測ですが、95%の方々は「片倉（富岡市民は富岡製糸場のことを所有者であった片倉工業から片倉と言っていた）なんて世界遺産登録なんてなりっこない」と言っていました。富岡製糸場の世界遺産登録に向けた市民啓発活動を行いましたが、市民の理解はなかなか得られなかったことを思い出します。

富岡製糸場は2005年に史跡に、2006年に重要文化財に指定され、世界遺産登録の第1歩を歩み始めました。これまでの日本の世界遺産は、文化庁が世界遺産暫定リスト（世界遺産条約を締約している国が、5年から10年以内に世界遺産リストに登録する計画のある資産をリスト化したもの）に載せており、どのようにアプローチすれば良いかわかりませんでした。2006年に



文化庁は、暫定一覧表追加記載候補を公募すると発表があり、文化庁からの説明内容をその場で聞いていた私にとって富岡製糸場の世界遺産登録に沿った説明をしているなど感じました。そして、2007年に2013年登録の富士山と一緒に世界遺産暫定一覧表に追加記載されることが決定されました。2009年に群馬県及び関係市町村で群馬県世界遺産学術委員会を設置し、世界遺産委員会へ提出する推薦書作成がスタートいたしました。そして、2013年「富岡製糸場と絹産業遺産群」の推薦書（正式版）をユネスコへ提出することを政府として正式に決定し、ユネスコへ推薦書が提出され、見事に2014年世界遺産登録が決定されました。

その世界遺産登録の過程の中で、富岡製糸場のような産業遺産は、システムが大切であると専門家の先生方から言われ続けていました。富岡製糸場に係るシステムとは、近隣の養蚕農家から繭が出荷され、富岡製糸場で生糸に加工され、海外に出荷することです。しかし、富岡製糸場は、1987年

に操業が停止し、生糸生産がストップしています。そうしますと、富岡の地には養蚕しかありません。

そこで、富岡市は養蚕を残すことを決断します。任意団体である富岡シルクブランド協議会を2008年に組織し、同じく2008年に「蚕糸・絹業提携支援緊急対策」事業が大日本蚕糸会からスタートしましたので、養蚕農家全員を富岡製糸場ブリュナ館に集めさせていただき、この事業を活用して養蚕を守りたいという想いを説明し、ご理解を得ることができました。

当協議会は、高品質な繭生産から流通・小売りまでの連携を強化した純国産シルク製品の開発・販売に取り組んできました。16年目を迎え、組織も一般社団法人富岡シルク推進機構と名称を変え、養蚕農家主軸の組織として、今もこれからも生き続けて行く所存です。また、大日本蚕糸会、群馬県、富岡市及び関係者の皆様の応援により、富岡市内の養蚕従事者数が日本一となりましたことをご報告し、最後といたします。



## "シルクサミット 2024 in 糸都岡谷" (第 25 回) を開催して

シルクサミット 2024 in 糸都岡谷 事務局  
岡谷蚕糸博物館  
館長 高林千幸

### はじめに

このサミットは、養蚕、製糸、染織、素材開発等の生産活動に携わっている人々、シルクに関する研究開発や博物館活動を行っている人々、地域での工房活動などに関わる人々などが情報交流、技術交流を行うことを目的として、シルクに関わりのある産地を毎年巡りながら交流を深めるといふものです。岡谷では 4 回目の開催となりました。

今回は、農研機構・一般財団法人大日本蚕糸会・岡谷市・シルクサミット 2024 in 糸都岡谷実行委員会の主催で、令和 6 年 11 月 16 日、17 日（土・日）の両日、岡谷市のカノラホールで“由緒あるシルクの歴史を未来へ”をテーマに開催しました。

### 1. 第 1 日目 (11 月 16 日)

10 時より「シルク時空 (とき) をこえて」を上映しました。この映画は熊谷友幸監督によるもので、岡谷を中心に国内、海外との絹の歴史をめぐる壮大な物語です。上映後、監督との質疑応答が活発に行われました。

13 時からシルクサミットの開会式が行われ、主催者である農研機構の立石剣所長、



写真 1 大日本蚕糸会松島浩道会頭による挨拶

一般財団法人大日本蚕糸会松島浩道会頭から挨拶があり (写真 1)、岡谷市の早出一真市長より歓迎の言葉が述べられました。

その後、基調講演として「なぜ岡谷は世界一の生糸生産地になったのか」と題し、筆者がその要因として、原料繭の確保、製糸用水、街道、燃料、人材等々 8 項目を取り上げ、これらが一つ欠けてもこの地方が世界一の生糸生産地にはなり得なかったことなどを報告しました。

続いて特別講演として、國學院大學大学院の小藤菜緒氏が「製糸業から派生した岡谷の味噌醸造業」について話されました。岡谷が昭和恐慌後、味噌のまち岡谷へ発展してきた経緯など興味深い内容でした。

次に活動事例報告として4課題の報告がありました。

はじめに、①「カイコ学習から学ぶもの」として岡谷蚕糸博物館森田聡美学芸員から博物館活動の中で子ども達の「カイコ学習」に重きを置いていること等についての内容でした。

その後、上の原小学校4年1組22名によるカイコ学習の報告がありました。お蚕さまを育てることの中で、命の大切さを学んだことなどの発表でした。最後に、皆で作詞した曲を歌い、澄んだ歌声が会場一杯に広がりました。発表が終わった後、子ども達のお蚕さまに対する純粋な気持ちに会場の多くの皆さんが目にはんかちを当てていました(写真2)。



写真2 岡谷市立上の原小学校4年1組の皆さんによる活動報告

その後、②「養蚕に生きる」と題し、養蚕体験・研修所「大丸屋」浅井広大管理人による、発表が行われました。新規に養蚕に参入して7年目、それまでの経緯や養蚕

を行うかたわら、下仁田ネギを栽培し、蚕糞をネギ畑へ入れるという循環型の農業が構築できたことなど話されました。

③農研機構の伊賀正年上級研究員から「繭糸強度の高い蚕品種『響明』の育成と実用化」と題し、蚕品種の交配により高強度繭糸を作出し、それにより絹弦を開発したことの報告がありました。

最後に、④「シルクの新産業創出の現在地」と題し、ユナイテッドシルク株式会社の河合崇社長より、自社の工場で生産されたシルクプロテインの用途展開など世界を視野に入れた活動などの報告がありました。これからのシルク新産業創出の旗頭として一層の活躍が期待されます。

## 2. 第2日目(11月17日)

2日目は、9時からバスで岡谷近代化産業遺産を伝える会宮坂春夫会長による市内の製糸遺産巡りを行いました。一方、岡谷蚕糸博物館見学として森田学芸員と筆者が案内しました。岡谷の由緒ある蚕糸業の歴史を感じて頂いたものと思います。

### おわりに

今回、240名という多くの皆さんに参加して頂き、熱心に聴講していただきました。絹製品や研究開発のブース、岡谷味噌の販売も行われるなど多面にわたって充実したサミットになりました。来年は愛媛での開催が予定されています。より一層、交流の輪が広まるよう期待しています。

## 第 71 回日本シルク学会研究発表会を終えて

第 71 回日本シルク学会研究発表会実行委員会

花之内智彦

第 71 回日本シルク学会研究発表会は、令和 6 年 11 月 22 日（金）に蚕糸科学技術研究所（茨城県稲敷郡阿見町）で開催されました。今回の開催地である蚕糸科学技術研究所は、令和 3 年 4 月に蚕糸科学研究所と蚕業技術研究所とが統合して発足しました。研究所の統合が一段落するまでは研究発表会の開催を受け入れることができなかったため、蚕糸科学研究所で開催した第 61 回日本シルク学会研究発表会から 10 年ぶりの開催となりました。

蚕糸科学技術研究所は、JR 常磐線「荒川沖駅」東口から路線バスで約 20 分の立地となります。これまでの開催地に比べて、利便性が悪いにも関わらず、参加者数は 82 名（うち学生 7 名）となりました。

### 大会概要

今回の研究発表会は、一般講演、総会、日本シルク学会賞受賞記念講演、特別講演、パネルディスカッションおよび施設見学を行いました。一般講演は、17 題の発表がありました。

### 日本シルク学会賞受賞記念講演

日本シルク学会賞は、農研機構の亀田恒徳会員が受賞され、受賞題名「未知・未利



日本シルク学会賞授与式

用シルクの利用化に関する研究」の講演がありました。未知・未利用シルクの実用化には、①他のシルクにはない特徴を持っていること、②実用化に十分な量が確保できること、③利用可能な形状に成形加工できること、④原料収集および加工にかかる経費がコスト妥当性を有していること、⑤生物多様性条約や外来生物法などの国際および国内の規制を遵守することなどを満たす必要があります。ホーネットシルクおよびミノムシルクの製品開発事例が紹介されました。

### 特別講演

特別講演は、女子美術大学名誉教授の岡田宣世氏をお招きし、「女子美術大学にお





### 特別講演

ける刺繍教育・染織文化資源・修復」という題名で、ご講演いただきました。

講演では、日本刺繍を中心とした120種の刺繍技法、ミシン刺繍などを学生に指導・教育しているとのことでした。女子美術大学収蔵の染織コレクションの紹介があり、衣装の変遷、図案、染色技法および刺繍技法等を解説いただきました。また、女子美術大学の染織コレクションの修復だけではなく、地域の染織文化財、特に、東日本大震災における陸前高田市立博物館所蔵の津波被災染織文化財の修復を手掛けられ、修復に用いる刺繍技術や素材についての事例紹介がありました。その際、修復に適した手打ち針が入手困難となっており、刺繍針などの道具を含め修復技術の継承を行うのが重要であるとのことでした。

### パネルディスカッション

「有機繭を考える」をテーマに、東條功氏(大日本蚕糸会)、小山朗夫氏(桑育種家)、池田真琴氏(群馬県蚕糸技術センター)の3名のパネリストをお招きし、パネルディスカッションを行いました。パネリストか

らの話題提供の後、パネリスト間や会場とで白熱した議論が展開されました。環境意識の高い欧米においては、有機の製品が望まれており、GOTS認証のような第三者機関のお墨付きの有無が、製品の売れ行きを左右しつつあるようです。現在の日本では、欧米ほど有機の製品への関心が高くありませんが、環境意識の高まりとともに、製品の購買に影響を及ぼす可能性があるため、有機の繭や生糸を用いた製品を取り扱っていく必要があるのではないかとの意見などがありました。



### パネルディスカッション

蚕糸科学技術研究所の発足後、今回の研究発表会のようなイベントの開催は初めてであり、十分に準備してきましたが、至らない点が多々あったかと思います。参加いただいた方々を始め、準備から当日の開催運営に至るまで多くの方にご協力いただき、無事大会を終えることができました。心よりお礼を申し上げます。

次回の日本シルク学会研究発表会は、信州大学繊維学部が開催地となります。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

## 第 27 回国際昆虫学会議から

学習院大学

理学部 嶋田 透

今年 2024 年の 8 月 25 日～30 日の 6 日間にわたり、国立京都国際会館において第 27 回国際昆虫学会議（27th International Congress of Entomology；略称 ICE2024 KYOTO）が日本昆虫科学連合と日本学術会議による共同主催により開催された。大日本蚕糸会は直接この国際会議を主催していないが、関連団体の（一社）日本蚕糸学会は、日本昆虫科学連合を構成する 17 学協会の 1 つであり、池田素子会長ほか多くの会員が招致の段階から会場の運営に至るまで様々な役割を担った。

国際昆虫学会議は 1910 年にブリュッセルで第 1 回の会議が開催されて以降、ほぼ 4 年に 1 回の頻度で世界各国にて開催されてきた歴史があり、毎回数千人規模の参加者が集う世界最大の昆虫学の国際会議である。日本では 1980 年に第 16 回国際昆虫学会議が開催されており、今回が 2 度目の開催となる。ICE2024 を日本へ招致することを目指して、2016 年に招致委員会が結成され、筆者も招致委員の一人となった。2020 年に行われた国際昆虫学会議評議員会において、日本を含む複数国のプレゼンテーションに続く評議員の投票の結果、日本の京都での開催が決定した。同 2020 年



写真 1 秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席のもとで開催された開会式での国際昆虫学会議評議員会議長 Walter S. Leal 教授（米国）の挨拶

に ICE2024 KYOTO の組織委員会が立ち上がり、小野正人委員長（玉川大学）、志賀向子副委員長（大阪大学）、松浦健二事務局長（京都大学）らをはじめとする 35 名の委員が選ばれた。筆者も渉外担当の常任委員を務めた。2022 年に組織委員会が（内閣府）日本学術会議との共同主催を求めて申請を行った結果、審査を経て、2024 年 1 月の閣議において ICE2024 KYOTO が政府主催行事として開催されることが決まった。

ICE2024 KYOTO の参加者は、82 カ国・地域からの 4,278 人であり、内訳は国外 2,957 人、国内 1,321 人であった。過去に行われた国際昆虫学会議と比べても、参加者の多い大規模な会議となった。プログラ

ムはすべて対面で行われ、オンライン形式はなかった。初日の8月25日の開会式は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、小野議長、志賀副議長らにより厳粛な式典として執り行われた。

ICE2024 KYOTOの全体のテーマは「New Discoveries through Consilience (知の統合による新たな発見)」であった。昆虫学が他の学問分野と連携・融合しながら複合的な課題解決を目指す様子を「Consilience」という英語で表現した。会議では6つの基調講演を核にして20の学術分野 (Scientific Sections) にわたる205のセッション (セッションごとにシンポジウム講演とポスター発表がある) に分かれ、総計2,817件の研究発表が行われた。その2,817件の内訳は口頭発表1,752件とポスター発表1,065件であった。

ICE2024 KYOTOが設定した20の学術分野の1つ「Section 2」は養蚕と養蜂 (Sericulture and Apiculture) をテーマとするものであり、Section 2のシンポジウムのうち4つが養蚕・蚕糸分野のシンポジウムであった。すなわち、坊農秀雅・奥原啓輔 (広島大学) が企画した「Insect Bio Digital Transformation (Insect BioDX) 」 (8月26日午前)、小林淳 (山口大学) ・M. Zurovec (チェコ) らが企画した「Recent Advances in Basic and Applied Studies on Wild Silkworms and Silk in the World」 (8月27日午前)、J. Heckenhauer (ドイツ) ・P. B. Frandsen (米国) が企画した「Genomic and molecular basis of the evolution of silk

production in Arthropods」 (8月29日午前)、A. Saviane ・S. Cappellozza (イタリア) が企画した「Raw silk production beyond textile: silkworm general rearing conditions and environmental impact of sericulture」 (8月29日午後) の4つのシンポジウムが、おもに養蚕・蚕糸に関するシンポジウムであった。これら4つのシンポジウムを合わせて32題の口頭発表が行われた。また、「Section 8」(Genetics and Genomics 遺伝学・ゲノム) にも、李允求 (学習院大学) ・藤井告 (九州大学) が企画したシンポジウム「The genetic resources of domesticated silkworm and wild silkworm in the post-genomics era」 (8月29日午前) があり、そこでは家蚕・野蚕の遺伝資源に関する7題の口頭発表が行われた。以上5つのシンポジウムテーマに応募した演題のうち、口頭発表に選ばれなかったものは、ポスター発表として行われた。これら養蚕・蚕糸に関するシンポジウムおよびポスター会場では、熱心な発表と活発な質疑応答が行われた。

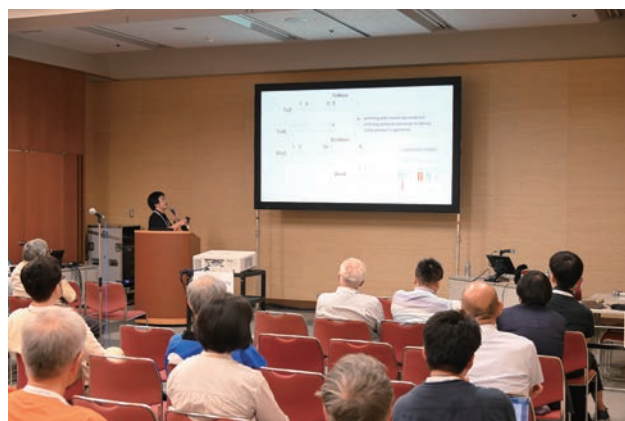


写真2 シンポジウム「The genetic resources of domesticated silkworm and wild silkworm in the post-genomics era」で講演する李允求博士 (学習院大)



会期の中間にあたる8月28日には、一般市民が無料で参加できるプログラムが用意され、市民向けの講演会「暴れる侵略者、立ち向かう昆虫学者」および「Women in Entomology」と質疑が行われた。また、子供のための昆虫観察会や、小中高校生のポスター発表会が行われ、多くの熱心な市民が参加していた。

また、会期を通して、会場内に昆虫に関連した企業や団体のためのブースも設けられ、大日本蚕糸会も、日本蚕糸学会およびナショナルバイオリソースプロジェクト(カイコ)と合同でブースを出典した。生きたカイコ幼虫から繭・織物まで養蚕・蚕糸の体系を紹介するコーナーとなっており、海外から訪れた研究者やその家族が興味深そうに見学をしていた。

ICE2024 KYOTOの会期の前後には、日本国内で、来訪した海外の昆虫学者を招いて様々なサテライトミーティングが開催された。大日本蚕糸会でも、イタリアCREA

から訪日したSilvia Cappellozza博士を有楽町の蚕糸会館へ招待して8月23日に講演会「欧州シルクルート復活プロジェクト(ARACNE)について」を開催した。この講演会の開催と、上記の京都国際会館での展示ブースの開設に尽力された東條副会頭をはじめ関係各位に御礼申し上げる。

2020年初頭から続いたコロナ禍も、ようやく終わり、国際交流がコロナ禍前の水準に戻ってきた。今回、国際昆虫学会議が日本で開催されたことで、関連分野の多くの海外研究者と久しぶりの再会を喜び合うことができた。また、学生・大学院生をはじめとする若い世代にとっては、今回初めて国際会議で研究発表を行うという者が多くおり、良い経験となった。上記のように、シンポジウムおよびポスターで、カイコ・野蚕などの研究発表が多数行われ、蚕糸という分野の存在を、昆虫学の世界に再認識してもらう貴重な機会となった。



写真3 大日本蚕糸会、日本蚕糸学会、NBRPカイコの合同展示ブース

## 第 27 回国際昆虫学会議に 3 団体共同で出展 (27th International Congress of Entomology : ICE2024 in Kyoto)

一般財団法人大日本蚕糸会  
蚕糸科学技術研究所  
門野敬子

2024 年 8 月 25 ～ 30 日に、標記の国際学会が国立京都国際会館で開催された。展示会場の 1 ブースを「日本蚕糸学会」、「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) カイコ」、「大日本蚕糸会」の 3 団体で借り上げ、それぞれが活動や研究成果の展示、来場者への説明を行なった (写真 1, 2)。主な展示と配布物は以下の通りである。

【日本蚕糸学会】展示：ポスター 1、農研機構のポスター 2、蛍光シルク、農研機構で育成した繭糸強度の高い品種「響明」の絹糸を用いた三味線、スマホをかざすと「響明」絹糸を用いた三味線の音色を聴くことができる QR コード。

【NBRP カイコ】展示：ポスター 2、九州大学保有突然変異約 500 系統の図録「カイコバイオリソース辞典」、各種説明パウチシート、様々な突然変異系統の繭と生きたカイコ幼虫、配布：パンフレット 2 種、説明入り色繭セット

【大日本蚕糸会】展示：ポスター 1、西陣織物館所蔵の「山口伊太郎作 群胡蝶文様唐織能装束」、(株)伊と幸のウォッシュャブルシルク「姫+」のホールガーメントニットセーター、織物 1 反分に使われる 3,000 個の繭と白生地 1 反、配布：要覧 (日・英)、日本の蚕糸業や蚕糸絹文化を日本語と英語で紹介した「Japanese Silk: A to



写真 1 設置が完了した 3 団体共催のブース  
ブース上部に 3 団体の看板が掲げられている。

向かって左が蚕糸学会から農研機構の展示、  
奥が大日本蚕糸会、右最奥のポスターが蚕糸学会、  
右が NBRP カイコの展示。

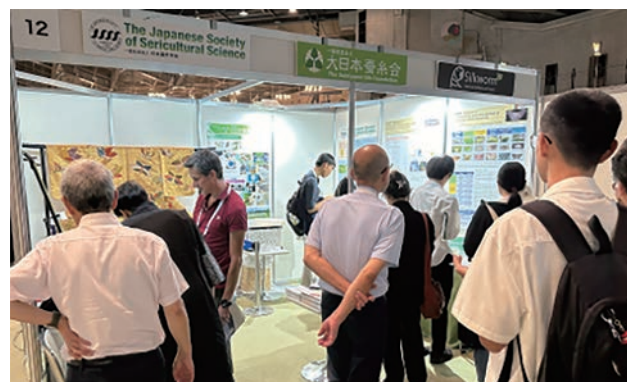


写真 2 ブースを訪れる来場者



Z narratives)、「姫+」パンフレット(日・英)  
展示会場となったイベントホールには、35の展示ブースが設けられ、国内外の農薬会社、海外の学術誌出版社、研究機器や研究支援サービス会社、昆虫採集用資材会社など多彩であった。学会は日本蚕糸学会、王立昆虫学会、アメリカ昆虫学会、台湾昆虫学会の4ブースであった。これらの中で、別々の団体が共同でブースを張っていたのは、我々のみであった。このおかげで、伝統と先端技術、そして豊富な遺伝資源が整備されたカイコとその研究を海外の研究者に印象付けられたと思う。生きたカイコを初めて見た、と驚く海外の研究者は非常に多かった。この国際昆虫学会議の議長で、カリフォルニア州立大学デービス校のWalter S. Leal 特別教授がブースに立ち寄り、能装束を撮影してその場で彼のXにアップしてくれた(写真3)。聴きたい

講演にあちこちの部屋を歩き来し、展示ブースでの説明と、毎日があっという間であった。しかし、会期の終わりには台風が近づき、帰りの飛行機が心配で、九州大学のNBRPの人々は、最終日の金曜を待たずに、木曜の昼に撤収した。蚕糸学会・農研機構と大日本蚕糸会も夕方までに撤収し、残りは、能装束とシルクセーターのみとなってしまった。最終日は台風で新幹線が止まり、撤収隊が来ることができず、京都工芸繊維大学の小谷英治教授の研究室の学生アルバイトと私の2人だけになってしまった。私も学会終了の翌朝に京都を出て、敦賀経由で茨城に戻ってきた。

なお、ブースの出展料やポスター印刷、会場への展示品の運搬費などについては、令和6年度農林水産省補助事業「持続的生産強化対策事業」及び大日本蚕糸会の「蚕糸絹提携自立化支援事業」による助成をいただきました。また、大会の展示申し込みやその他様々な調整を、農研機構の笠嶋めぐみ氏が中心になって行なってくださいました。この場を借りてお礼申し上げます。



写真3 ICE議長Walter S. Leal教授のXにアップされた能装束

## 貞明皇后記念蚕糸科学賞 カイコのゲノム編集技術の開発と展望

農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門  
絹糸昆虫高度利用研究領域

新素材開発グループ 高須陽子  
カイコ基盤技術開発グループ 坪田拓也

### はじめに

生物の持つ遺伝情報一式のことをゲノムといいます。ゲノムはDNAという長い鎖状の分子で、その中には遺伝子と呼ばれる部分があります。この遺伝子が親から子へ伝わることで、子は親の性質を受け継ぎます。ゲノム編集とは、遺伝子などゲノムの一部のDNA配列を書き換えることで、親とは違った性質を持つ子を産み出す技術です。

### 遺伝子組換えとの違い

ゲノム編集と似た技術に、「遺伝子組換え」があります。これは、新しい遺伝子を「加える」技術で、たとえば、カイコのゲノムに蛍光タンパク質の遺伝子を加えることで、蛍光を放つ繭を作るカイコができます<sup>1)</sup>。

これに対して、ゲノム編集の基本的な働きは、生物がもともと持っている遺伝子を破壊（ノックアウト）することです。一見地味なこの「壊す」技術ですが、生物学者にとっては大変画期的なツールなのです。

### ノックアウトで遺伝子の機能を探る

30年ほど前に進められていた「ヒトゲノム計画」をご存知でしょうか。人間のゲノムのDNA配列をすべて読む大規模なプロジェクトでしたが、これと同じことがカイコを始め多くの生物で行われました<sup>2)</sup>。ゲノムの解読が完了すると、配列の中身を理解する段階へ移ります。古典的な交雑実験により、生物のさまざまな性質を支配する「遺伝子」の存在が知られていましたが、これ



図1. 遺伝子組換え（左）とゲノム編集（右）のイメージ

遺伝子組換えは、ゲノムに新しい遺伝子を挿入しますが、目隠しをしたまま絵（＝ゲノム）に新しいアイテム（＝遺伝子）を貼りつけるようなもので、どこに挿入されるかわかりません。一方、ゲノム編集は、ゲノムの狙った部位を壊したり書き換えたりする技術です。



図2. 正常なカイコ（左）とゲノム編集により皮膚の白色化に関わる遺伝子を破壊したカイコ（右）

らとプロジェクトで読まれた「配列」とを対応づける研究が始まりました。ある「配列」を破壊することで特定の性質が変われば、その性質を支配する「遺伝子」の本体がその「配列」であることの証明になります。ゲノム編集は、まさに世界中の研究者が求めていた技術でした。特にカイコでは、遺伝子機能の解明に使われる RNAi という技術があまり有効ではないことから、ゲノム編集の登場がカイコの研究を大きく変えつつあります。

### ノックインで遺伝子の機能をコントロールする

ゲノム編集では、遺伝子を「壊す」だけでなく思い通りの配列に書き換えることもできます。たとえば、害虫の持つあるタンパク質のごく一部を変えることで、殺虫剤の効きやすさが変わることが知られています。その場合、そのタンパク質の情報が書かれている遺伝子の一部を変えることで、農薬への耐性をコントロールすることができます<sup>3)</sup>。ゲノム編集の中でも「ノックイン」という方法を使うことで、このように思い通りの配列に変えることができます。壊すだけのノックアウトに比べると難易度は上がりますが、カイコでは十分可能な技術です。

### ノックインで新しいシルクを作る

遺伝子のごく一部を書き換える小さな改変に対して、遺伝子をまるごと書き換えるような大きな改変は、さらに難易度が上がります。まだ一部の生物でしか成功していませんが、カイコではすでに成功例が報告

されています<sup>4,5)</sup>。

昆虫由来の新素材を開発する私たちのグループは、カイコが作る最も重要な素材であるシルクの改変にも取り組んでいます。最近、シルクの性質を決めている長鎖フィブロイン遺伝子という非常に長い遺伝子を実験室で合成した DNA に置き換え、カイコに新しいシルクタンパク質を作らせることが可能になりました<sup>6)</sup>。さて、どのような DNA 配列が価値あるシルクを生み出すのか、まだ誰も見たことのないシルクと出会う日もそう遠い未来ではないでしょう。

### おわりに

カイコのゲノム編集に関する一連の研究に対して、令和6年度貞明皇后蚕糸科学賞をいただきました。これらの研究は、多くの方々的高度な技術と専門性なくしてはできないものでした。故中村薫氏、橋本好二氏、三澤利彦氏ほか農研機構技術支援室の皆様、絹糸昆虫高度利用研究領域の瀬筒秀樹博士始め職員、非常勤職員の皆様、そして田村俊樹博士、Michal Zurovec 博士ら多くの共同研究者の皆様にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

### 参考文献

- 1)Iizuka et al (2013) *Adv Funct Mater* 23(42): 5232-5239.
- 2)The International Silkworm Genome Consortium (2008) *Insect Biochem Mol Biol* 40: 759-765.
- 3)Li et al (2020) *Toxins* 12(2): 104.
- 4)Daimon et al (2014) *Dev Growth Differ* 56: 14-25.
- 5)Nakade et al (2015) *Nat Commun* 5: 5560.
- 6)Takasu et al (2023) *Insect Biochem Mol Biol* 161: 104002.



## 中国における伝統的な養蚕の保全

- 世界農業遺産「湖州の桑基魚塘システム」を訪ねて -

国連大学サステナビリティ高等研究所

客員研究員 永田 明

中国は養蚕の発祥の地であり、現在も世界のシルクの約半分を生産する世界最大の生産国です。その中国でも、近年、人件費の高騰などの影響で、養蚕は厳しい状況にあるようです。中国の養蚕は、もともと江蘇省、浙江省など東部の沿海地域の方で盛んでしたが、政府は、シルク産業の競争力を強化するとともに、「三農問題」の解決にも資するために、東部沿海地域の養蚕を西部の内陸地域へ移す「東桑西移」という政策を進めてきました。そのような中で、浙江省など東部沿海地域の養蚕は、シェアは下げつつも、さまざまな努力により現在も一定の生産を維持しています。

実際に現地の専門家に聞いてみましたが、養蚕自体は西部の方に移っており東部の方は生産が減少しているそうですが、それを加工するシルク産業は現在も東部の方で安定しており、必要な原料を西部の方から購入しているそうです。

今回、紹介するのは、東部の浙江省湖州市で伝統的な養蚕を保全している世界農業遺産「湖州の桑基魚塘(そうきぎょとう)システム」です。筆者は、この地を2017年、2018年、そして今年の11月上旬にも国連食糧農業機関 (FAO) の招待により「世界農業遺産高級研修」に参加するために訪問しました。

世界農業遺産は、FAOによって認定される、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育



桑基魚塘の景観

まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域（農林水産業システム）です。「遺産」という名前がついていますが、「過去の遺物」ではなく、現在も営まれている「生きている遺産」であることが特徴です。これまでに、世界全体で28か国の89地域、中国では22地域（日本では15地域）が認定されています。その一つが、2017年に認定された「湖州の桑基魚塘システム」です。

湖州市は、上海から車で約2時間半、杭州から約1時間半のところに位置し、湖州の名前のとおり、揚子江の河道の変更によってできた多くの湖があります。

この地域では、2500年以上前から、「桑基魚塘」と呼ばれる伝統的な養蚕と漁業が複合的に営まれてきました。これは、湖を利用した養魚池で魚を飼い、その栄養豊富な湖底の泥を養魚池の周りに積み上げて桑を栽培し、その桑をカイコに食べさせて、

そのカイコの残渣をまた魚の餌にするという循環的なシステムです。



桑基魚塘システム

しかし、このような伝統的な「桑基魚塘」も 1990 年代の終わり頃には、繭の価格の低迷などから養魚池が放棄されたり、管理が不十分となったりするような保全と継承の危機がありました。

そこで、2013 年に中国農業部（日本の農林水産省に相当する組織で、2018 年からは農業農村部）が創設した「中国重要農業文化遺産」への登録により、この優れた伝統的な養蚕と漁業の「桑基魚塘」を保全し、活用することにしました。さらに、FAO に世界農業遺産の認定も申請し、2017 年に世界農業遺産に認定されました。

もちろん地域全体としては近代的な養蚕が営まれています。中国では、このような伝統的な農業を政策的に保全し、地域の企業による農産加工や観光業と組み合わせて地域の発展につなげる取り組みを進めています。

筆者が滞在した「荻港漁荘」という民営の複合施設では、宿泊施設やレストランのほかに伝統的な養蚕について学べる体験型の施設が整備され、お茶、お菓子、飲料などさまざまな桑の葉や実の加工品が生産・販売されていました。また、近くには、桑基魚塘の散策路が整備され、大きく育った魚を収穫する体験イベントなども行われていました。



カイコの展示



桑の葉や実の加工品



魚の収穫体験（右から 2 人目が筆者）

「農業遺産」は、グローバル化など環境の変化により存亡の危機に瀕している伝統的な農業を認定することにより、その認知度を高め、付加価値を向上させて、次の世代に受け継がれるようにするものです。このような観点で、筆者は、日本の養蚕も将来に受け継がれるべき「生きている遺産」として「農業遺産」に認定される潜在的な可能性があるのではないかと考えています。関係の皆さんに関心をもっていただけると幸いです。



# イベント情報

## ●岡谷蚕糸博物館 企画展 「花岡哲象 絹本日本画展」

岡谷市出身の日本画家、花岡哲象氏は絹本日本画に独自の世界観を表現してきました。通算 70 回目の個展にあたる今回の企画展では、20 代から現在までの作品を前期・中期・後期の三期に分けて展示いたします。岡谷市湊にアトリエ澄神洞を構え、冬麗社絹絵研究会にて後進の指導にもあたっている哲象氏の作品をご鑑賞ください。

〈会期〉 令和 7 年 2 月 20 日（木）～ 6 月 15 日（日）  
前期 2/20 ～ 4/7 中期 4/10 ～ 5/12 後期 5/15 ～ 6/15  
休館日：水曜日・祝日の翌日、年末年始休館日（12/29 ～ 1/3）  
4/8、5/13 は臨時休館

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒 394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

## ●日本絹の里 特別展 「群馬県作家協会展 ～明日にいきづく伝統文化～」

絹産業は、養蚕・製糸・染織に携わる職人と、それらに必要な道具や信仰物等を作る多くの「匠」の技に支えられてきました。伝統の技を継承して創作活動を行っている群馬県作家協会会員の作品を展示し、絹文化や創造の魅力をお伝えします。

〈会期〉 令和 6 年 12 月 21 日（土）～令和 7 年 2 月 3 日（月）  
休館日：火曜日、年末年始休館日 12/27 ～ 1/5（1/3 は臨時開館）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒 370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

---

---

●日本絹の里 「群馬の絹」展

「～観る、買う、装う、シルクとの出会い～」

群馬の繭・生糸を使用した、和装品や洋装品、工芸品などの絹製品の展示と販売を行います。手織りや藍染め等のワークショップ、きもの着付け体験などのイベントも同時開催します。

〈会期〉 令和7年2月7日（金）～11日（火・祝）

会期中無休

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「まゆクラフトと絹の作品展」

繭の特性をいかした独創的なまゆクラフト作品とともに、工芸作家及び日本絹の里友の会会員による作品を展示します。繭、絹の持つ素晴らしさを感じてください。

〈会期〉 令和7年2月16日（日）～4月7日（月）

休館日：火曜日

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

## ●シルク博物館 冬の企画展

年間を通してかいこについて学ぶ「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、作品（まゆや生糸を使った作品、観察記録など）を募集し、学習の展示発表会を開催します。

「たのしいかいこの発表会」 会期中、小中学生入館無料

〈会期〉 令和6年12月10日（火）～令和7年1月19日（日）  
会期中の休館日：月曜日、休日の場合は翌日、年末年始休館日  
（12月28日から1月4日）

〈時間〉 9：30～17：00（ただし入館は16：30まで）

〈料金〉 一般500円（300円）、シニア・大学生300円（200円）、  
高校生100円（50円）  
※（ ）内は団体料金です。

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階  
Tel: 045-641-0841  
<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

### 【連続講座】（全3回）

「白き糸の物語～天の虫がつなぐ歴史・人・まち～」

1月11日（土） 映画「シルク時空をこえて」の上映 および解説

講師：熊谷友幸氏（朝の学舎製作委員会 映画監督・撮影）

2月8日（土） テーマ：「日本の近代化を支えた製糸業とそれに従事した工女さんたち」

講師：高林千幸氏（岡谷蚕糸博物館 館長）

3月15日（土） テーマ：「シルクが結ぶまちと文化」

講師：米山淳一氏

（公益社団法人 横浜歴史資産調査会 常務理事）

## ●シルク博物館

### 【実演・ワークショップのご案内（2025年1～3月）】

- |            |                |                 |
|------------|----------------|-----------------|
| 1月12日（日）   | 子ども向けワークショップ   | 小さなシルクハンカチ染め体験  |
| 1月13日（月・祝） | 子ども向けワークショップ   | 小さなシルクハンカチ染め体験  |
| 1月18日（土）   | ワークショップ        | くみひもストラップ作り     |
| 1月25日（土）   | 子ども向けワークショップ   | かいことシルクの勉強会     |
| 2月1日（土）    | 学芸員によるギャラリートーク |                 |
| 2月15日（土）   | 【実演】           | 手作り真綿           |
| 2月22日（土）   | 子ども向けワークショップ   | まわた人形「あひるの親子」作り |
| 2月23日（日・祝） | 【実演】           | 手紬糸作り           |
| 3月1日（土）    | 子ども向けワークショップ   | かいことシルクの勉強会     |
| 3月15日（土）   | 【実演】           | 手作り真綿           |
| 3月22日（土）   | 子ども向けワークショップ   | まゆ人形作り          |
| 3月29日（土）   | ワークショップ        | くみひもストラップ作り     |

ワークショップの申し込みは事前予約制です。

詳細はホームページをご覧ください。お電話にてお問合せください。

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

---

---

## ★イベント開催報告

### 岡谷蚕糸博物館 企画展

#### 岡谷蚕糸博物館開館 60 周年・リニューアルオープン 10 周年記念

##### 「Yumi Katsura の世界」

会期： 令和6年8月22日（木）～11月10日（日）

開催報告：

当館の開館 60 周年・リニューアルオープン 10 周年を記念して、ユミカツラのクチュールドレスを展示いたしました。会期中の 10 月 2 日には「Yumi Katsura トーク&ファッションショー」を開催し、約 800 人の観客が、糸都岡谷を尊敬していた桂由美先生を偲ぶ高林館長の講演、シルクドレスのファッションショーに深くうなずきながら魅了されていました。

### 群馬県立日本絹の里 企画展

#### 「首里織展～ぐんまの生糸が紡ぐ物語～」

会期： 令和6年9月5日（木）～10月28日（月）

開催報告：

現在の沖縄県那覇市の一部は、首里王府の城下町として栄えた首里という地域でした。「首里織」という名称は首里に伝わる沢山の紋織や、絣織物を総称する名称ですが、なかでも花倉織や道屯織という織物は、王家や貴族専用とされ首里でしか織られていないことが特徴です。豊かな色彩と繊細さが美しい沖縄伝統の染織物。その中でも首里織は、群馬県のオリジナル蚕品種の生糸が使われています。本展では、紋織から絣に至るまで多彩に織られる首里織の魅力とともに首里と群馬県の養蚕農家との繋がりをご紹介します。

### シルク博物館 秋の特別展

#### 「型が奏でるリズムと色彩—型絵染 8 人展」

会期： 令和6年10月12日（土）～11月24日（日）

開催報告：

「型絵染」は型紙を用いて布を染める技法で、1956年に芹沢銈介が人間国宝に認定された際、はじめてこの名称が用いられました。型絵染は作家が図案作成から型紙彫り、染め、仮縫いまでを一貫して行うことに特徴があり、デザイン性や絵画性に富む作品が多く見られます。本展では、型絵染の染織作家8名を招き、着物、帯、壁掛けなど約50点の作品と型紙などを展示し、ご来館の皆様にご堪能いただきました。



## 2024 年度第 3 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2024 年度第 3 次審査委員会を 2024 年 11 月 20 日（水）に開催しました。今回の申請は 5 者で、新規申請者 1 者 1 品目、使用許諾されている 4 者のうち履歴の追加 3 者 3 品目、数量の追加 1 者 3 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、5 者 7 品目に対し、11 月 27 日（水）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) (株) 橋本絞店 代表者名：橋本徹 (担当者：橋本徹) 〒 373-0813 群馬県太田市内ヶ島町 1435 TEL：0276-45-4725 表示者登録番号 255	絞り着尺	3 反	蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JA およま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 田勇機業(株) 染 色 自社
(履歴の追加) (株) 錦 代表者名：鎌田九美夫 (担当者：鎌田九美夫) 〒 606-8126 京都市左京区一乗寺向畑町 8 番地 2 TEL：075-711-7108 表示者登録番号 254	ジャケット	25 着	繭生産 (一財) 宮城県蚕糸会 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 京都市内染色会社 製 織 田勇機業(株) 縫 製 (株) TexTech
(履歴の追加) (株) すずのき 代表者名：高田陽一 (担当者：岩淵豊) 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-7 ヤマノ 24 ビル 2 階 TEL：03-5308-5011 表示者登録番号 201	白生地(表地)	60 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 村井機業場 精 練 丹後織物工業組合

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) 福和商事(株) 代表者名：奥田彰 (担当者：奥田晃史) 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-18 TEL：03-3661-2467 表示者登録番号 253	白生地(表地)	20反	蚕品種 錦秋×鐘和(51%)、 ぐんま200(49%) 繭生産 JAはが野・JA甘楽富岡 管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸(株) 製織 村井機業場 精練 丹後織物工業組合
(数量の追加) (株)高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：山口安隆) 〒542-8510 大阪府中央区難波5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物(振袖)	9反	繭生産 JAなす南管内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 (株)竹林 染色加工 (株)千總
	後染反物(振袖)	6反	繭生産 JAなす南管内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 篠春織物(株) 染色加工 (株)千總
	後染反物(振袖)	4反	繭生産 JAなす南管内養蚕農家 製糸 松岡(株) 製織 (株)竹林 染色加工 (株)千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2024年度第4次：2025年2月26日(水)

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2025年1月24日(金)

(連絡先)

〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

一般財団法人大日本蚕糸会

担当：岡島、伊藤

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

伊藤：ito@silk.or.jp

## 純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

2024年11月20日(2024-第3次)現在

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
001	(株)千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株)織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株)丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株)坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有)平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株)信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株)きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株)上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有)樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株)銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有)織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株)結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有)絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有)大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袱紗、帯揚)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類、着尺)、後染反物(色無地)
027	(有)織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウオーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株)丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株)むらかぬ	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株)高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷
031	(株)さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋組、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
063	丸池藤井(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)、八掛
064	久保商事(株)	京都市中京区	和装小物(帯揚、半衿)
065	加賀ゲンゼ(株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋(株)	京都市中京区	後染反物(訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川(株)	京都市下京区	和装小物(帯締、帯揚)
069	(株)紅輪 (株)紅輪 まるやま・京彩 グループ	川崎市宮前区	後染反物(色無地)、白生地(表地(紋意匠))
070	装いの道(株)	東京都千代田区	白生地(帯地、表地)、胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま200、新小石丸)
071	(株)高橋屋	岩手県一関市	胴裏(灰汁浸加工)
072	おお又(株)	大阪市旭区	胴裏(灰汁浸加工)、ニット(靴下)
073	(株)天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏(ぐんま200(灰汁浸加工))、白生地(表地)
074	(株)きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏(パールトーン加工)
075	(株)とみひろ	山形県山形市	胴裏(酵素精練)、白生地
076	(株)細安	福井県福井市	胴裏(酵素精練)
077	京和きもの(株)	神奈川県厚木市	胴裏(酵素精練)
078	(株)まるため	長野県長野市	胴裏(トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株)小川屋	群馬県前橋市	胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株)エムラ	山口県防府市	胴裏(酵素精練)
081	(株)荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏(酵素精練)
082	(株)牛島屋	富山県富山市	胴裏(酵素精練)、後染反物(小紋)
083	(株)谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏(酵素精練)
084	(株)登美屋	岩手県北上市	胴裏(パールトーン加工)
085	(株)川平屋	愛知県豊田市	胴裏(パールトーン加工)、後染反物(小紋(変一越、紋意匠))
087	(株)大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地(胴裏、比翼地(振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株)綾の手 (旧(株)あきやま)	宮崎県綾町	先染反物(綾の手紬)、洋装品(ショール、マフラー)
090	藤井絞(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)
092	(有)結城屋	兵庫県洲本市	白生地(表地)
093	(株)ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地(表地)
095	(有)カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品(冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品(スーツ地、ネクタイ、服飾品(スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株)平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐(男物、女物)
098	(株)菱健	京都市中京区	後染反物(色無地)
099	西野(株)	京都市上京区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)
101	(株)猪井	新潟県長岡市	後染反物(色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪、マフラー (手織り)



表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、 パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、 服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗、ネクタイ、帯地 (白塩瀬))
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企業名	所在地	主な絹製品名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地、表地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大翻	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 練巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物(着尺(首里織))、先染帯地(首里織)
247	丸八生糸(株)	京都市上京区	白生地(表地)
248	(株)高島織物	京都市北区	白生地(表地)
249	くらしつむぐあとリエ	福井県坂井市	白生地(表地、帯地)、服飾品(ストール)
250	UGAA I	東京都世田谷区	洋装服地
251	石川県立津幡高等学校	石川県河北郡	白生地(牛首紬)、白生地(帯地(牛首紬))
252	合同会社COCON	大阪府四條畷市	寝具寝装品(シュラフ型シルクシート、ナイトキャップ、手袋、靴下)、シルクスリッパ
253	福和商事(株)	東京都中央区	白生地(表地)
254	(株)錦	京都市左京区	洋装品(ジャケット)
255	(株)橋本絞店	群馬県太田市	絞り着尺



月日	活 動 内 容 等
10/1	蚕糸・絹業提携グループ意見交換会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/2	第6回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/7	蚕糸・絹業提携グループ意見交換会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/8	第2回新たなビジネス潮流に関する検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/12	第61回全国ファッションデザインコンテスト (東京都品川区 杉野学園)
10/15	和文化・産業連携振興協議会 (農林水産省)
10/17	臨時理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/23	第2回蚕糸絹提携自立化支援事業審査会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/28	第1回有識者会議 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/1	蚕糸功労者表彰式 (帝国ホテル)
11/6	第7回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/7	蚕糸会館・自衛消防隊避難訓練 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/8	第2回持続的養蚕業確立検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/11	和文化・産業連携振興協議会 (農林水産省)
11/16, 17	シルクサミット 2024 in 糸都岡谷) (長野県岡谷市 カノラホール)

月日	活 動 内 容 等
11/18	第2回有識者会議 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/20	純国産絹マーク審査委員会 (2024年度第3次) (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/22	日本シルク学会 (茨城県阿見町 蚕糸科学技術研究所)
11/23	笠間稲荷献穀献繭品評会 表彰式 (茨城県 笠間稲荷)
11/27	第2回新たな混合薬剤に関する検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
12/4, 5	伊勢神宮農事関係功労者顕彰式 (三重県 伊勢神宮)
12/9	和文化・産業連携振興協議会 (農林水産省)
12/11	第8回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
12/16	第9回若手養蚕農家との意見交換会 (東京都有楽町 蚕糸会館 オンライン併用)
12/18	第3回有識者会議 (東京都有楽町 蚕糸会館)

# 蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひこころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F～8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイトワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884



名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

# 蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

## 【行政】

農林水産省  
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>  
<http://www.meti.go.jp>

## 【蚕糸絹業関係団体】

(一社) 日本絹人繊維物工業会  
(一財) 日本真綿協会  
丹後織物工業組合  
西陣織工業組合  
TAFS (東京織物卸商業組合)  
KOMS (京都織物卸商業組合)  
(公財) 京都和装産業振興財団  
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会  
全国シルクビジネス協議会

<http://www.kinujinsen.com>  
<http://www.mawata.or.jp>  
<https://tanko.or.jp>  
<https://nishijin.or.jp>  
<https://www.tafs.or.jp>  
<https://www.fashion-kyoto.or.jp>  
<https://www.wasou.or.jp>  
<https://kyokai.kougeihin.jp>  
<https://japan-silk.org>

## 【大学・試験研究機関】

農業・食品産業技術総合研究機構  
北海道大学 (応用分子昆虫学研究室)  
宇都宮大学 (分子昆虫学研究室)  
東京大学 (昆虫遺伝研究室)  
東京農工大学 (蚕学研究室)  
東京農工大学 (生体分子構造学分野)  
名古屋大学 (資源昆虫学研究室)  
信州大学繊維学部  
京都工芸繊維大学 (応用生物学課程)  
九州大学 (家蚕遺伝子開発分野)  
九州大学 (昆虫ゲノム科学研究室)  
群馬県蚕糸技術センター  
群馬県繊維工業試験場  
京都府織物・機械金属振興センター  
(地独) 京都市産業技術研究所  
(公財) 衣笠繊維研究所

<https://www.naro.go.jp/index.html>  
<https://www.agr.hokudai.ac.jp/r/lab/applied-molecular-entomology>  
<https://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology>  
<https://sites.google.com/view/igblab-ut-aba/top>  
<https://web.tuat.ac.jp/~kaiko>  
<https://sites.google.com/go.tuat.ac.jp/nakazawa-lab/home>  
<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~yousan>  
<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles>  
<http://www.bio.kit.ac.jp>  
<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/kasan/insect/top.html>  
<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/igs>  
<http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>  
<https://www.tec-lab.pref.gunma.jp/textile>  
<http://www.pref.kyoto.jp/oriki>  
<http://www.tc-kyoto.or.jp>  
<http://krf-textile.com>

## 【学会】

日本シルク学会  
(一社) 日本蚕糸学会  
日本野蚕学会

<http://jssst.sakura.ne.jp>  
<http://jsss.or.jp>  
<https://jsws-yasan.com>

## 【博物館等】

(一財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館  
群馬県立日本絹の里  
愛媛県西予市野村シルク博物館  
東京農工大学科学博物館  
駒ヶ根シルクミュージアム  
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)  
はたや記念館ゆめおーれ勝山

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>  
<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>  
<https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/silkhakubutsukan>  
<https://www.tuat-museum.org>  
<https://komagane-silk.com/>  
<https://silkfact.jp>  
<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>

---

---

## 【博物館等】

美馬蚕糸館

<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

野外博物館 北海道開拓の村

<https://www.kaitaku.or.jp>

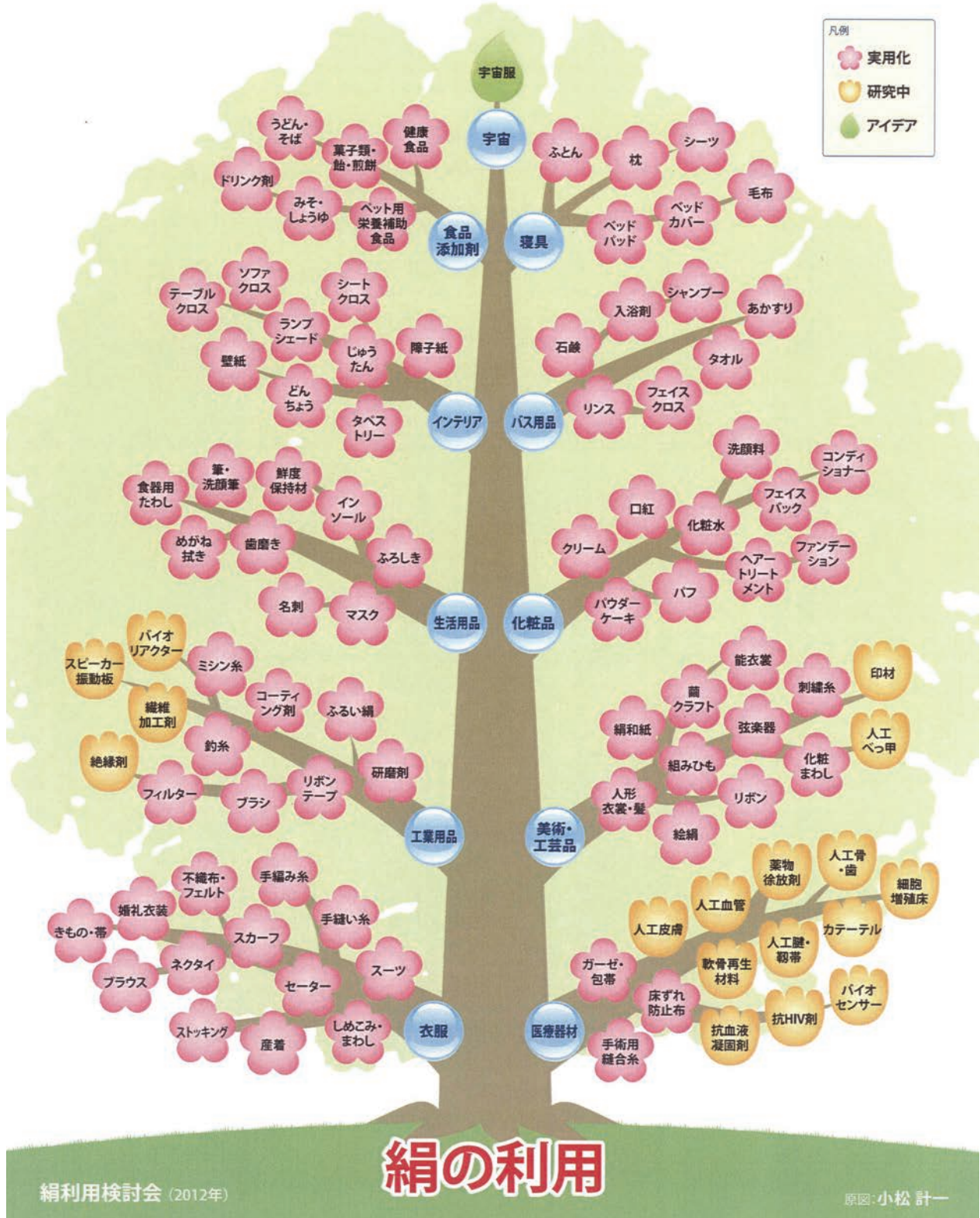
富岡製糸場

<https://www.tomioka-silk.jp/tomioka-silk-mill/>

群馬県立世界遺産センター

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

# 絹利用の系統樹



絹利用検討会 (2012年)

## 絹の利用

原図: 小松 計一



## 統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

# 統計資料目次

## <国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	48
(2) 養蚕農家数の推移	49
(3) 繭生産数量の推移	50
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	51
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	52
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	53
(12) 製糸工場の操業状況	54
(13) 生糸在庫数量の内訳	55
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	56
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	57

## <海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	59
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	60

# 一 資料・国内一

## (1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item  暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,319
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	1,444
2023	146	45	308	0.2	7	33	—	1,242
前年比(%) 2023/2022	89.6	88.2	98.5	100.0	100.0	150.0	—	86.0

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

- ・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である
- ・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
- ・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織織物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)  
 ・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)  
 ・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)  
 ・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

## (2) 養蚕農家数の推移

### Farm households raising silk-worm

(単位：戸)  
(Unit: number)

暦年 Calendar Year 項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
2023	146	126	78	130
前年比 (%) 2023/2022	89.6	86.3	87.6	91.5

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (~2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002~2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005~2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009~).



### (3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

暦年 Calendar Year 項目 Item	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕
	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
2023	45	17	11	17	308	135	141	131
前年比 (%) 2023/2022	87.2	81.8	87.6	92.9	98.4	98.5	96.6	103.1
2023年 構成比 (%)	100.0	37.0	24.8	38.2				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

## (7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

## Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡 数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫 数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
暦年 Calendar Year									
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2023	154	2,936	0	3,157	859	7,495	137	2,515	3,213
2022 -									
1	12	379	0	436	823	588	2	264	233
2	8	222	0	199	854	484	32	162	316
3	19	541	0	481	933	667	33	178	348
4	15	—	1	159	788	412	30	214	355
5	13	500	0	476	825	857	7	256	326
6	15	426	0	313	953	703	7	256	355
7	12	291	0	333	923	893	19	227	330
8	16	473	0	411	1,001	764	17	224	290
9	16	149	0	222	944	688	10	248	283
10	14	187	0	347	798	642	4	262	323
11	12	297	0	227	880	739	9	287	310
12	16	180	0	149	927	509	11	226	258
2023 -									
1	13	271	0	345	866	650	10	209	182
2	10	179	0	270	785	309	10	118	285
3	14	295	0	272	822	705	15	221	316
4	17	—	0	142	697	514	9	222	292
5	14	460	0	504	667	742	2	221	289
6	15	221	0	126	777	791	12	205	291
7	11	218	0	280	726	578	23	230	258
8	11	354	0	290	801	742	6	227	251
9	10	198	0	221	788	681	14	216	257
10	11	218	0	193	824	599	20	224	265
11	12	364	0	382	818	658	10	214	255
12	16	157	0	132	859	526	6	208	272
2024 -									
1	11	234	0	223	881	492	6	262	203
2	13	290	0	263	921	438	12	139	241
3	10	335	0	343	923	352	20	143	284
4	8	—	0	22	909	557	13	220	262
5	11	366	0	426	860	545	4	212	322
6	10	196	0	177	889	351	25	213	247
7	15	352	0	512	744	746	7	225	249
8	12	170	0	121	805	507	26	164	210
9	14	226	0	236	819	516	3	213	245
10	8	158	0	82	903	488	31	184	253

資料：(A) (C) (D) 中央蚕糸協会 (2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11~) (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

## (9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

## Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 暦年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④						期末 在庫 Ending Stocks ④	
	期初 在庫 Opening Stocks	生産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export				内 需 Domestic Demand ②-③				
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics		二 次 The Second			
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
2023	166	45	0	121	3	7	6	105	121	20	0	0	7	13	101	45
前年比 (%) 2023/ 2022	96	100	—	95	82	88	97	95	95	90	—	—	87	93	96	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

## (11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills (単位：生繭. t)

(Unit : Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2015	116	159	115
	2016	115	110	120
	2017	103	120	103
	2018	92	117	78
	2019	89	97	70
	2020	72	73	69
	2021	55	57	67
	2022	46	59	54
	2023	43	50	37
2022 -	1	0	4	62
	2	1	3	60
	3	0	7	53
	4	0	5	48
	5	1	5	44
	6	10	5	49
	7	8	5	52
	8	7	5	54
	9	1	6	49
	10	18	5	62
	11	1	4	59
	12	0	5	54
2023 -	1	0	4	49
	2	0	4	44
	3	2	5	41
	4	0	5	37
	5	0	4	33
	6	9	5	34
	7	10	4	40
	8	3	3	40
	9	1	3	38
	10	9	4	43
	11	3	4	42
	12	1	6	38
2024 -	1	1	4	35
	2	0	4	31
	3	0	4	27
	4	0	3	24
	5	3	3	24
	6	8	4	25
	7	10	6	29
	8	3	4	27
	9	1	5	23

資料：中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).



(12) 製糸工場の操業状況  
Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2015	8	110	33	30	263	53
	2016	8	110	29	26	267	55
	2017	8	110	31	28	266	59
	2018	8	74	34	46	253	57
	2019	8	74	27	36	239	51
	2020	8	74	23	31	218	48
	2021	7	74	15	20	214	43
	2022	7	64	14	22	230	41
	2023	7	44	15	34	235	41
2022 -	1	6	74	10	14	15	35
	2	6	74	14	19	14	35
	3	6	74	17	23	23	35
	4	6	74	19	26	19	35
	5	6	74	16	22	17	34
	6	6	74	12	16	21	34
	7	6	74	13	18	22	36
	8	6	74	13	18	18	33
	9	7	44	18	41	21	41
	10	7	44	13	30	21	40
	11	7	44	12	27	19	40
	12	7	44	14	32	20	41
2023 -	1	7	44	15	34	16	42
	2	7	44	16	36	17	40
	3	7	44	17	39	21	42
	4	7	44	15	34	21	34
	5	7	44	15	34	21	34
	6	7	44	17	39	21	44
	7	7	44	15	34	22	44
	8	7	44	12	27	16	41
	9	7	44	12	27	19	41
	10	7	44	13	30	22	41
	11	7	44	16	36	20	41
	12	7	44	13	30	19	41
2024 -	1	7	44	14	32	17	41
	2	7	44	13	30	20	41
	3	7	44	13	30	19	41
	4	7	44	9	20	20	40
	5	7	44	12	32	19	40
	6	7	44	15	34	21	43
	7	7	44	17	39	22	43
	8	7	42	18	43	17	20
	9	7	42	12	29	31	20

資料：中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : Central Raw Silk Association(2012.12~2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks : 1.The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2.Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3.Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳  
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)  
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
	2015	1,410	94	1,316	
	2016	1,406	130	1,276	
	2017	1,747	156	1,591	
	2018	1,330	230	1,100	
	2019	1,429	238	1,191	
	2020	1,066	178	888	
	2021	868	170	698	
	2022	927	127	800	
	2023	859	144	715	
2022 -	1	823	163	660	
	2	854	160	694	
	3	933	163	770	
	4	788	160	628	
	5	825	155	670	
	6	953	146	807	
	7	923	131	792	
	8	1,001	134	867	
	9	944	135	809	
	10	798	134	664	
	11	880	125	755	
	12	927	127	800	
2023 -	1	866	129	737	
	2	785	125	660	
	3	822	131	691	
	4	737	138	599	
	5	667	138	529	
	6	777	143	634	
	7	726	142	584	
	8	801	139	662	
	9	788	135	653	
	10	824	137	687	
	11	818	140	678	
	12	859	144	715	
2024 -	1	881	138	743	
	2	921	138	783	
	3	923	138	785	
	4	909	133	776	
	5	860	133	727	
	6	889	136	753	
	7	744	138	606	
	8	805	137	668	
	9	819	137	682	

資料：中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

Source: Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(18) 絹織物生産数量  
Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)  
(Unit：1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,319	840	587	9	244	336	128	208	143
2022	1,444	1,016	716	0	300	280	72	208	148
2023	1,242	817	548	0	269	288	82	206	136
2022 -									
1	104	71	51	0	19	22	7	15	12
2	124	90	61	0	29	22	6	16	12
3	124	87	66	0	21	24	6	18	13
4	126	87	70	0	17	25	6	19	15
5	123	89	64	0	25	23	5	18	11
6	145	105	76	0	29	24	6	18	16
7	121	82	65	0	18	24	7	17	15
8	112	78	63	0	15	23	6	17	11
9	104	70	47	0	23	24	6	18	11
10	118	81	55	0	26	24	6	18	13
11	121	88	51	0	37	24	6	18	10
12	121	88	48	0	40	23	7	17	9
2023 -									
1	106	75	52	0	23	23	7	16	8
2	99	65	45	0	20	23	6	17	12
3	104	63	48	0	15	25	7	18	16
4	112	73	54	0	19	25	7	18	14
5	113	77	48	0	29	24	7	17	12
6	110	72	47	0	25	25	7	18	12
7	100	63	45	0	18	25	8	17	11
8	101	68	44	0	24	23	7	16	10
9	93	59	41	0	18	23	6	17	10
10	102	68	42	0	26	25	7	18	9
11	107	73	42	0	31	24	7	17	10
12	95	61	40	0	21	23	7	16	10
2024 -									
1	94	61	44	0	17	23	7	16	10
2	97	60	40	0	20	23	7	16	12
3	93	56	44	0	12	28	11	17	10
4	93	54	42	0	12	29	12	17	10
5	103	66	36	0	30	28	11	17	9
6	92	54	34	0	20	28	11	17	9
7	95	52	35	0	17	29	12	17	13
8	71	40	30	0	10	23	8	15	7
9	84	46	32	0	14	28	11	17	10
10	95	61	36	0	25	28	11	17	7

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 2023年分までデータ補正がある。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks：1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregard

2. Data are corrected until 2023.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量  
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,319	108.6	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022	1,444	109.5	158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2023	1,242	86.0	147,196	92.6	11,657	97.2	254,378	90.4
2022 -								
1	104	115.2	10,399	104.7	983	127.2	22,277	113.5
2	124	131.2	12,746	107.9	982	107.9	20,744	98.4
3	124	126.9	12,376	107.4	863	76.4	25,113	93.8
4	126	118.8	14,948	104.8	1,111	147.2	26,693	101.3
5	123	113.2	11,207	96.7	1,127	118.4	22,216	89.5
6	145	118.2	14,645	110.9	1,237	142.2	26,282	90.4
7	121	111.3	14,540	99.1	996	106.2	22,233	91.3
8	112	115.8	11,938	118.9	939	87.6	20,915	86.3
9	104	93.7	13,993	103.3	845	77.4	24,163	98.3
10	118	100.1	14,932	98.3	1,109	106.8	23,440	88.9
11	121	92.7	13,737	101.3	961	65.7	23,932	89.5
12	121	91.2	13,521	94.5	835	62.8	22,127	91.4
2023 -								
1	106	102.1	9,451	90.9	1,011	102.8	24,615	110.5
2	99	80.0	12,892	101.1	836	85.1	19,786	93.6
3	104	83.6	11,963	96.7	901	104.4	24,475	97.5
4	112	88.8	13,330	89.2	878	79.0	23,422	89.2
5	113	91.9	11,894	106.1	1,197	106.2	22,043	100.1
6	110	75.9	13,523	92.3	952	77.0	23,807	89.1
7	100	82.4	13,194	90.7	1,121	112.6	18,686	83.9
8	101	90.4	8,952	75.0	855	91.1	16,250	76.8
9	93	89.2	14,213	101.6	684	80.9	20,410	81.2
10	102	86.5	12,354	82.7	989	89.2	19,502	83.2
11	107	88.1	12,399	90.3	1,030	107.2	20,270	83.5
12	95	78.5	13,030	96.4	1,203	144.1	19,688	90.7
2024 -								
1	94	88.3	8,032	85.0	885	87.5	14,648	61.1
2	97	97.8	13,377	103.8	1,043	124.8	17,070	86.2
3	93	89.4	11,675	97.6	999	110.9	18,682	73.4
4	93	83.0	12,093	90.7	997	113.6	20,584	86.9
5	103	91.2	10,096	84.9	722	60.3	21,751	99.9
6	92	83.6	13,031	96.4	702	73.7	16,369	68.4
7	95	95.0	10,794	81.8	876	78.1	15,860	84.9
8	71	70.3	8,492	94.9	546	63.9	13,324	82.0
9	84	90.3	12,063	84.9	921	134.6	17,628	90.6
10	95	93.1	9,186	74.4	921	93.1	17,386	86.1
11			12,377	99.8	684	66.4		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 絹織物生産数量の数値は2023年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

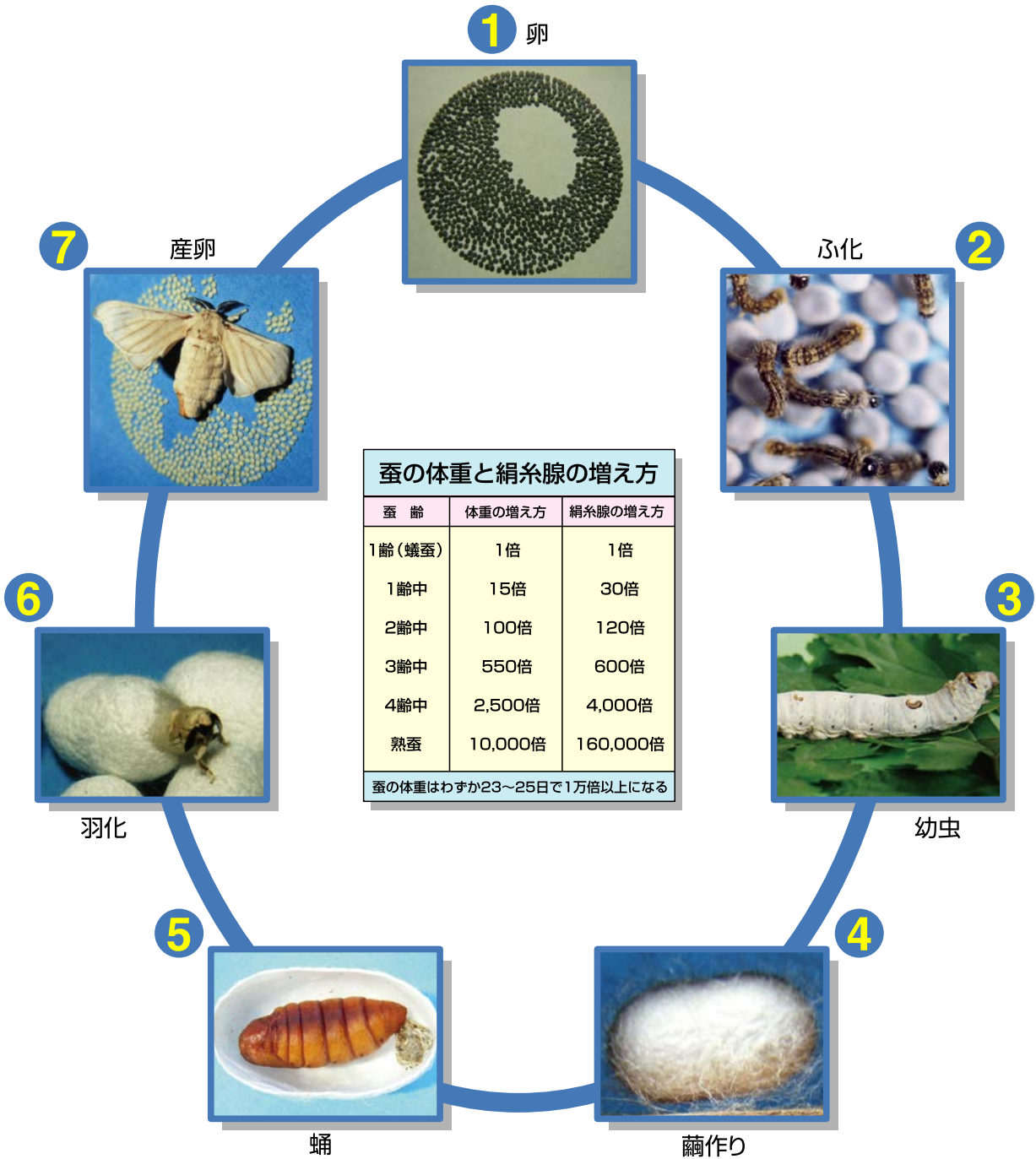
The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The figures of silk fabric production quantity are corrected until 2023.



# 蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

—資料・海外—

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China	710,634	720,805	714,999
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan	17,912	21,374	20,942
イラン	Iran	589	1,407	1,794
タイ	Thailand	4,858	5,011	3,715
ブラジル	Brazil	3,055	3,047	2,742
ベトナム	Vietnam	8,145	11,855	14,937
北朝鮮	North Korea	2,500	2,643	2,643
トルコ	Turkey	94	90	90
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	18	18	18
シリア	Syria	0	1	1
主要国の計	Total	933,475	951,486	931,306

区 分		2021年	2022年	2023年
		トン	トン	トン
日本	Japan	61	51	45
中国	China	750,036		
インド	India	187,241	199,752	215,642
ウズベキスタン	Uzbekistan	22,770	24,300	
イラン	Iran	1,680	2,309	
タイ	Thailand	3,593	3,693	
ブラジル	Brazil	2,211	1,807	
ベトナム	Vietnam	16,444	16,824	
北朝鮮	North Korea	2,643	2,591	
トルコ	Turkey	76	69	
ブルガリア	Bulgaria	-	-	
インドネシア	Indonesia	21	24	
シリア	Syria	2	1	
主要国の計	Total	986,778	251,421	215,687

注: 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国はFAOの統計値を使用。

Note: Figures of China are based on the data of the China Silk Association. Figures of Japan are based on the data of the The Dainippon Silk Foundation, Ministry of Textiles in The Dainippon Silk Foundation. Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India. Others than these countries, based on the data of International Sericulture.

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格  
Spot Price of Various Silk Goods

2024年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	145.60 ~ 167.80	2,912 ~ 3,356
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	170.80 ~ 199.80	3,416 ~ 3,996
3	玉繭(double cocoon)		112.20 ~ 136.50	2,244 ~ 2,730
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	130.00 ~ 173.80	2,600 ~ 3,476
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	483.60 ~ 527.00	9,672 ~ 10,540
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	491.80 ~ 535.00	9,836 ~ 10,700
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	482.60 ~ 515.60	9,652 ~ 10,312
8	玉糸(doupion silk)	110d	458.00 ~ 470.00	9,160 ~ 9,400
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	42.50 ~ 47.50	850 ~ 950
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.50 ~ 71.80	1,250 ~ 1,436
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	53.00 ~ 58.00	1,060 ~ 1,160
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	46.00 ~ 51.00	920 ~ 1,020

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2024年9月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.50 ~ 164.00	2,770 ~ 3,280
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	164.75 ~ 191.00	3,295 ~ 3,820
3	玉繭(double cocoon)		110.88 ~ 134.88	2,218 ~ 2,698
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	130.00 ~ 170.00	2,600 ~ 3,400
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	472.50 ~ 522.75	9,450 ~ 10,455
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	481.00 ~ 527.50	9,620 ~ 10,550
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	470.00 ~ 501.25	9,400 ~ 10,025
8	玉糸(doupion silk)	110d	456.25 ~ 468.50	9,125 ~ 9,370
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.50 ~ 47.00	830 ~ 940
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	61.50 ~ 71.50	1,230 ~ 1,430
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.00 ~ 57.50	1,040 ~ 1,150
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.00 ~ 50.50	900 ~ 1,010

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2024年10月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	139.40 ~ 164.20	2,927 ~ 3,448
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	165.40 ~ 190.20	3,473 ~ 3,994
3	玉繭(double cocoon)		110.30 ~ 134.50	2,316 ~ 2,825
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	127.60 ~ 169.20	2,680 ~ 3,553
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	475.60 ~ 527.60	9,988 ~ 11,080
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	482.60 ~ 535.40	10,135 ~ 11,243
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	465.80 ~ 495.00	9,782 ~ 10,395
8	玉糸(doupion silk)	110d	455.40 ~ 467.80	9,563 ~ 9,824
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.50 ~ 47.00	872 ~ 987
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	61.50 ~ 71.30	1,292 ~ 1,497
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.00 ~ 57.30	1,092 ~ 1,203
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.00 ~ 50.30	945 ~ 1,056

注:1元=21円

1CNY=21JPY

2024年11月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	131.75 ~ 163.50	2,767 ~ 3,434
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	163.00 ~ 188.75	3,423 ~ 3,964
3	玉繭(double cocoon)		103.00 ~ 131.75	2,163 ~ 2,767
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	113.00 ~ 159.50	2,373 ~ 3,350
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	474.00 ~ 525.50	9,954 ~ 11,036
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	480.25 ~ 535.50	10,085 ~ 11,246
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	464.50 ~ 490.25	9,755 ~ 10,295
8	玉糸(doupion silk)	110d	453.25 ~ 467.00	9,518 ~ 9,807
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.00 ~ 46.50	861 ~ 977
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	61.50 ~ 71.00	1,292 ~ 1,491
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.00 ~ 57.00	1,092 ~ 1,197
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.00 ~ 50.00	945 ~ 1,050

注:1元=21円

1CNY=21JPY



※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

**<https://silk.or.jp>**

シルクレポート 2025年1月号 No.84 令和7年1月1日発行

編集 / 発行

**一般財団法人大日本蚕糸会**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず